

# ホームページの見直しにより、利用者倍増！

株式会社 スキャット (広島県)

障がい者デイサービス『ラピスラズリ』の運営を行う事業者。レクリエーションやリハビリもさることながら、五感を刺激した、独自性のある介護手法に取り組んでいる。

## 1. 相談のきっかけ

代表者の看護師としての経験から、幅広い医療ケアを行うために障がい者デイサービス『ラピスラズリ』を開設したが、利用者が思うように集まらず、事業者は困惑していた。

そうした中、広島銀行向原支店で当拠点の出張相談が開催されることを知り、来訪相談に至った。

## 2. 課題整理・分析

- ・相談当時のHPは社名や施設名で検索しても表示されないため、認知度が低い。現状のHPレイアウトは縦長1枚ものでサイトに深みが無く検索には弱いと判断。
  - ・また、チラシやHPの内容は利用者の活動内容が伝わりにくい状態と判断され、利用者の家族が安心して介護が必要な方を通わせられる環境なのか、判断ができないのではと想定される。
  - ・加えて、『ラピスラズリ』の運営者の顔が見えず、利用者の家族へ安心感も伝わらない。
- ⇒集客増に向けて、まずは事業者の活動等の効果的な情報発信が課題として認識された。

## 3. 解決策の提案

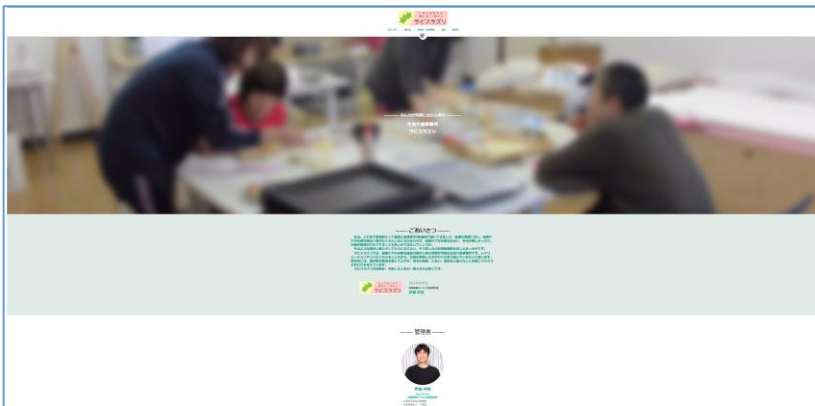
- ・事業者はITに関して詳しくないと判断されたため、専門家派遣制度を活用することを提案。拠点から、適切な専門家を選定し、専門家に対して事業者の情報を丁寧に説明。派遣マッチング時に齟齬が起きないように綿密に調整したうえで、ITコーディネータを派遣した。
- ・専門家と協同し、HPの再構築とSNSの活用による定期的な情報発信で、利用者の活動内容や運営者の顔が見えるように掲載内容やレイアウトを工夫・変更することを提案。

## 4. 成果

・当拠点及び専門家からの助言を受けてHPを見直した結果、利用者の活動内容や運営者の顔が見え、利用者の家族へ安心感を伝えることができた。その結果、施設開設以来、利用者を相談日から3か月で倍増させることができた。

・相談者からは「専門家はとても良い方で、ITに関して詳しくない私にもわかりやすく説明していただき、とても良いHPができました」とのコメントを頂いた。

### <変更前HP画像>



### <変更後HP画像>

